

この学校通信「安居っ子だより」は、月1回の発行予定ですが、臨時休業中も発行を続けてきました。これまでの23回分は、学校のホームページでご覧になれます。



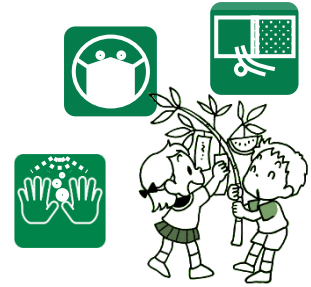
福井市安居小学校 学校通信

安居っ子だより

令和2年 7月 3日 No.24

〒918-8076 福井県福井市本堂町 4-12
Tel: (0776)37-1004 Fax: (0776)37-1582
E-mail: ago-e@fukui-city.ed.jp

☆バランスよい食事と、
☆十分な睡眠を。



再開後の子供たち、とても頑張っています!

臨時休業を終え、学校が再開してから1月が経ちました。3か月に及び臨時休業でしたから、最初は戸惑う子が多いのではないかと大変心配していましたが、予想とは違い、落ち着いて生活し、新しい生活様式に慣れようととても頑張って学校生活を送っています。

これもひとえに、休業中の保護者の皆様やご家族の皆様の温かな家庭教育のおかげと大変感謝しております。また、学校がスタートしてから、ご家庭で認め励ましてくださったことにより、心の不安を取り除き新しい生活へ意欲をもって取り組む事ができているようです。今後とも、子供たちの心に寄り添い、子供たちの意欲を高める教育を共に進めて参りましょう。よろしくお願ひいたします。

安居小学校 学習指導計画

令和元年度3月分と令和2年度4、5月分も含めて、今年度の計画を立て直して取り組んで参ります。

6月になって、どの学年も順調に今年度のスタートを切ることができました。当初の計画通り昨年度の3月分を仕上げ、その後は今年度の新しい学年の内容を新たな計画に沿って進めています。

本校では、年間を通して少しずつ挽回するように計画し、8月末には2~3週間遅れ、10月末には1~1.5週遅れ、12月末には約0.5週遅れ、1月末までには元の通常の年間計画に戻る予定です。この間、一気に詰め込んで負担がかからないように、子供たちの様子を見ながら、焦らずに取り戻していきたいと思ひます。

ご家庭でも宿題の様子を見る時などに、子供たちへの励ましをお願ひいたします。

また、3ヶ月間で培った自分でする力を生かして、進んで予習復習などに取り組むのもいいですね。



学校行事について

学校行事の様々な見直しを進めています。

- 校内体育大会
- ・現時点では予定通り、10月1日に内容を検討して開催する予定です。
- ・児童が接触することをできるだけ避けたり、密集にならないような隊形を考えたりして、グラウンドで間隔を広く空けて使うよう考慮しているところです。
- ・密集を避けるために、保護者の方の参観にもご協力をいただくことがありますので、よろしくお願ひいたします。
- 修学旅行
- ・現時点では、延期した11月18・19日に実施予定です。
- ・行き先の状況を確認し、実施の仕方、旅行先や内容等を検討し、保護者の方のご意見も伺いながら総合的に判断して決めて参ります。これまで通りとはいかない部分も生じていますので、ガイドラインを参考にし、旅行業者と十分に打ち合わせして計画を立てていきます。
- そのほかの学年の行事についても、感染症予防を最優先にして、必要性に応じて実施方法を工夫しながら準備して参ります。お気づきの点などありましたらご連絡ください。



引き続きのご協力を

「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル~『学校の新しい生活様式』~」より

学校生活における一番の感染リスクは、休み時間や登下校など教職員の目が届かない所での児童の行動です。学校生活を始めるに当たり、最初に、児童が本感染症を正しく理解し、感染のリスクを自ら判断し、これを避ける行動をとることができるよう、「新型コロナウイルス感染症の予防」資料等を活用して感染症対策に関する指導を行ってきました。

これまで全国で子供の感染事例は一定数生じています。学校内での感染拡大を防ぐためには、何よりも外からウイルスを持ち込まないことが重要であり、このためには各家庭の協力が不可欠です。

毎日の児童の健康観察はもちろんのこと、例えば、家族に発熱、咳などの症状がある場合は、児童の登校を控えることも重要です。

また、休日において不要不急の外出を控える、仲の良い友人同士の間での行き来を控える、家族ぐるみの交流による接触を控えるなど、学校を通じた人間関係の中で感染が広がらないよう細心の注意も必要です。

こうしたことについて、ご家庭においても「新しい生活様式」の実践をお願ひしたいと思ひます。

マスクの着用について

学校教育活動においては、近距離での会話や発声等が必要な場面も生じることから、飛沫を飛ばさないよう、児童及び教職員は、基本的には常時マスク着用が望ましいとされています。ただし、次の場合には、マスクを着用する必要はないとされています。

1) 十分な身体的距離が確保できる場合は、マスクの着用は必要ありません。

2) 熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外します。

※気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。マスクを外す場合には、できるだけ身体的距離を保つ、近距離での会話を控えるようにするなどの配慮をすることが望ましいですが、熱中症も命に関わる危険があることを踏まえ、熱中症への対応を優先させます。

※マスクの取り外しについては、活動の態様や児童の様子なども踏まえ、現場で臨機応変に対応します。

※児童本人が暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的にはずして呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるように指導します。

6/26 交通安全教室で警察の方よりご指導いただきました。ポイントは、

○自分の目で確認する

○飛び出さない

○信号を守る

です。



この学校だよりは、学校のHP (<http://www.fukui-city.ed.jp/ago-e/>) でもご覧になれます。